

広報

2022
令和4年



奥出雲

12

No.213

今月号の主な内容

褒章・叙勲・島根県各種功労者表彰	2
令和4年小学生たたら体験学習	4
所得税確定申告及び町県民税申告相談のお知らせ	6
民生児童委員さんが決定しました	8

森も冬じたく

令和4年秋の褒章

黄綬褒章 田村 明男さん(横田)



田村さんは昭和60年、28歳の時に籾上清酒の代表社員に就任されて以降、多年にわたり酒造りに精励されてきました。高い製造技術を有され、籾上清酒のお酒は国内外の賞を多数受賞しています。また、自社だけでなく、酒造業界全体の安定と発展にも多年にわたり貢献されており、現在も島根県酒造組合の会長・代表理事として、引き続き尽力されています。他の模範となるような業績が認められ、この度、受章の栄に浴されました。

令和4年秋の叙勲

瑞宝双光章 石田 正博さん(三成)



石田さんは昭和47年1月、仁多町消防団に入団されて以降、退団までの37年10か月にわたり、地域防災に貢献されてきました。平成17年3月から退団までの3年9か月は、奥出雲町消防団副団長の要職を務められ、地域消防の発展に尽力されました。また、平成16年から現在まで、島根県中小企業団体中央会の理事を務められるなど、消防と中小企業振興に貢献された功績が認められ、この度、受章の栄に浴されました。

瑞宝中綬章 谷河 精規さん(島根リハビリテーション学院院长)



谷河さんは昭和51年、島根医科大学医学部に助教として就任されて以降、統合後の島根大学医学部でも教授を務められ、平成19年に退官されるまで、長年にわたり教員を務められました。退官後は島根大学医学部名誉教授を授与されるとともに、平成21年から現在まで、島根リハビリテーション学院の学院院长を務められています。多年にわたり教育と研究に貢献された業績が認められ、この度、受章の栄に浴されました。

令和4年度島根県各種功労者表彰

各分野において県勢の発展に大きな貢献があった方を島根県知事が表彰する「島根県各種功労者表彰」に、町内から次の方が表彰されました。



系原さんは、平成21年6月から3期12年にわたり、奥出雲町選挙管理委員会委員長をお務めになりました。その間、国政選挙を8回、地方選挙を12回と、数多くの選挙において、選挙事務全般の円滑化と効率化に大きく貢献され、地方自治の進展に寄与されました。

功労分野「土木」川角 邦生さん(阿井)



川角さんは、建設業に47年間従事され、その間、災害対応や積雪時の除雪にも尽力するなど、地域住民の暮らしの安全に貢献されています。現在は、奥出雲町建設業協会会長、仁多地区建設業協会副会長に就任されており、社会基盤の整備に寄与されました。

功労分野「防犯」山田 文子さん(三成)



山田さんは、鬼の舌震の飲食店「舌震亭」を経営する傍ら、70年以上にわたり、来訪客に犯罪被害防止や遭難事故防止の呼びかけを行うなど、地域の安全推進に尽力されています。現在は、雲南警察署から鍵かけ100%推進大使、飲酒運転100%なくし大使を委嘱されており、防犯意識の高揚に寄与されました。

横田中学校緑の少年団

令和4年度全国緑の少年団活動発表大会出場

横田中学校緑の少年団が、全国約3,100団が加盟する「緑の少年団」のうち、優秀な活動を行っている上位5団体に贈られる「みどりの奨励賞(国土緑化推進機構理事長賞)」を受賞し、11月12日から13日にかけて大分県で開催された、第45回全国育樹祭の併催行事である全国緑の少年団活動発表大会で活動発表を行いました。

全国大会への出場にあたり11月7日、役場仁多庁舎で開催された激励式には、3人の出場者のうち村尾藍さんと藤原桜香さんの2人が参加し、村尾さんはしっかりと発表してきたと思っています。「藤原さんは「全国育樹祭に行けるといふことに感謝し、精一杯発表してきます。」と意気込みを述べました。

緑の少年団は、次代を担う子どもたちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした活動です。横田中学校緑の少年団は、令和3年7月29日に開催された、第32回島根県緑の少年団発表大会において最優秀賞を受賞し、令和4年の全国大会に推薦されています。



高尾小学校 第53回博報賞受賞

高尾小学校が取り組む落語を取り入れた教育実践が、第53回博報賞を受賞しました。

高尾小学校は2013年4月から、総合的な学習の時間に落語を取り入れ、表現力や積極性の育成に取り組んでおり、審査では、言葉を通して思いを伝え、聞き手の思いを想像して、豊かな表現力を育んでいると評価されました。

11月22日に役場仁多庁舎で行われた、糸原町長への報告会では、6年生の和泉圭亮さんが「僕たちが頑張ってきた成果が出たんだなと思っています。」と述べ、桑山校長先生が「ここにこの卒業生を含めた子どもたちの努力の成果かなと思っています。」と述べました。

博報賞は、公益財団法人博報堂教育財団が実施する賞で、言葉の力を育むことを核とし、子どもたちの主体性を引き出し、すばらしい成果をあげている先駆性・独自性のある教育実践に贈られます。

受賞を祝い、11月27日には、高尾小学校で記念の寄席がありました。また、12月17日には、東京都内でも寄席を披露します。



山陰酸素工業株式会社から 小型LPガス発電機を寄贈頂きました

山陰酸素工業株式会社から町に対し、小型LPガス発電機を贈呈頂きました。この発電機は、同社が地域に根差す企業として重点を置く、地域の防災を目的として寄贈頂いております。家庭などに広く普及しているLPガス50kg容器で約4日間、電気を供給できることから、災害等の不測の停電時にも照明や携帯電話の電源として活用でき、災害時の安全確保に繋がることが期待されます。

11月18日に役場仁多庁舎で開かれた贈呈式において、同社の並河元代表取締役社長は「エネルギーはライフラインの非常に重要なアイテムです。もし仮に寸断されたときにでも最低限の生活ができるよう、どこでも持ち運べるポータブル発電機を寄贈させていただいております。」と挨拶されました。

今回、寄贈いただいた発電機は、阿井の避難所に配備される予定です。



ダムに見える牧場

第五回松江ツーリズム研究会 観光大賞授賞



佐白にあるダムに見える牧場が、一般財団法人松江ツーリズム研究会基金が実施し、島根県の観光振興及び地域経済の活性化に顕著な功績のあった団体・個人を表彰する「第五回松江ツーリズム研究会観光大賞」を受賞し、同牧場代表の大石巨太さんが11月8日、糸原町長を訪れ、受賞を報告しました。

ダムに見える牧場は、牛との触れ合いや牛がいる景観を楽しめる「公園のような牧場」を目指して牧場を開放しており、観光客が牧場を訪れることで周辺施設の周遊にも繋がるなど、地域の観光に貢献した功績が評価されました。

令和4年 小学生たたら体験学習



奥出雲町内の小学6年生を中心とした児童を対象とする「たたら体験学習」が、12月1日と2日の両日、鳥上小学校敷地内の古代たたら体験学習工房で実施されました。

この学習は、奥出雲町に伝わる伝統的製鉄技術「たたら製鉄」を、日刀保たたら皆さんの協力をいただきながら実体験することで、

郷土への理解を深めるとともに、体験を通じた表現活動を行う機会とすることを目的としており、平成13年から毎年、行われています。

1日目は、粘土による炉づくりや、砂鉄を採取する鉄穴流し、木炭を切る体験などを行いました。2日目は、ふいごで炉に風を送りながら、砂鉄と木炭を交互に炉に入れて操業し、夕方には炉を壊して、鉄の塊「鋸(ケラ)」を取り出しました。今回の体験では、砂鉄99kg、木炭157kgを使用し、できた鋸は33kgでした。

参加した児童の1人は「木原村下が言っていた、誠実は美鋼を生む、その言葉をずっと心に秘めて、たたらをしていました。その通り、みんなが誠実にやっていたおかげで、良いケラができました。僕はこれからも誠実にやって結果を残していきたいです。」と述べました。

児童は今後、操業体験や、事前学習で学んだ各校区の鉄づくりに関わる歴史や活動などを表現する事後学習に取り組みます。

仁多地域統合小学校建設地は、三成小学校敷地に決定しました

12月定例議会初日の12月5日、糸原町長が下記の判断を説明をした上で、関連補正予算を上程し、議会審議の結果、同日に可決されました。



【町長の判断】(要旨)

- ・仁多地域統合小学校建設地は、三成小敷地とする。
- ・財政上の見通しが立てば、同敷地内に町民体育館兼用体育館を整備する。
- ・三成小学校耐震代替校舎は、三成小敷地内に設置し、その用地はプールを解体することで確保する。
- ・現町民体育館解体後の敷地やその他用地を活用し、三成地区のまちづくりを住民と一緒に進める。
- ・現布勢小学校舎の取壊し、未耐震の布勢公民館に替わる布勢地区拠点施設整備などが一体的に解決する可能性があることから、布勢小学校の耐震代替校舎(仮設校舎)の建設については、従来からの説明どおりに布勢小仮設校舎を設置することも選択肢として残しつつも、三成小学校耐震代替校舎のみで対応できないか、布勢小学校区と早急に検討・協議を進める。その上で、布勢小耐震代替校舎の設置について判断する。

【補正予算内容】

- ・三成小耐震代替校舎設計業務委託費、三成小プール解体設計業務委託費など

今後、関係者等へ詳細な説明をしながら、令和8年4月開校に向け進めていきます。引き続きのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

学校再編推進課

三成小学校

三成大火を逃れたピアノで演奏会

三成小学校に保管されている、戦時中に発生した三成大火での焼損を免れたピアノによる演奏会が、11月27日と29日の2回、三成小学校の体育館で開催されました。

三成大火は、昭和20年4月18日の正午すぎに発生し、三成の中心地はほぼ全焼、布勢の山林にも飛び火するなど、広範囲に燃え広がり、翌朝の雨で鎮火したとされます。ピアノは校舎に火の手が迫る中、三成小学校の職員によって搬出されました。記録によると「搬出して焼け残った備品は、ただ一台のピアノ」とあります。

今回の演奏会では、雲南市在住のピアニスト板東沙耶香さんをお迎えしました。曲目は、モーツァルト作曲「きらきら星変奏曲」、ドビュッシー作曲「喜びの島」に加え、児童に弾いてもらいたい曲を尋ねた事前アンケートの上位楽曲が織り交ぜられました。

29日は、板東さんによるクラシック曲の聴き方のこつこの教示もあり、児童の感性を磨く時間となりました。



電力・ガス食料品等価格高騰 緊急支援給付金のご案内



物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対して給付金を支給します。(詳細は、町のホームページ等でお知らせしています。)

※この給付金は、すでに「住民税非課税世帯等臨時特別給付金(10万円)」を受給された方へも支給されます。

1.支給対象となる世帯 (いずれかにあてはまる世帯)

- ①世帯全員の令和4年度住民税均等割が非課税の世帯
※住民税が課税されている方の扶養親族のみの世帯ではないこと
- ②予期せず令和4年1月から令和4年12月までの家計が急変し、同一の世帯に属する者全員が令和4年度分の住民税が非課税である世帯と同様の事情にあると認められる世帯(家計急変世帯)

2.支給額 1世帯あたり5万円



3.支給方法

- ①住民税非課税世帯
令和4年度住民税非課税世帯等臨時特別給付金を受給された方は、給付金の支給口座に振り込みます。また、受給対象となる世帯へは、お知らせの文書を送付しています。
なお、お知らせが届いていない方でも、申請により受給できる場合があります。
- ②家計急変世帯
申請時点で住民登録のある市区町村へ「申請書」の提出が必要となります。確定申告書、源泉徴収票等の他、収入が分かる書類を添付していただきます。

4.申請期限 令和5年1月31日(火)まで

【お問い合わせ・提出先】 奥出雲町福祉事務所 有線31-5375 電話54-2541

第27回 中国中学生選抜剣道大会



第27回中国中学生選抜剣道大会が12月3日から4日にかけて、奥出雲町民体育館で開催され、中国地方各県から男女計33チーム、延べ211名が参加しました。試合は、3校総当たりによる予選リーグの上位2校が決勝トーナメントに進出するルールで行われました。奥出雲町からは、仁多中男女と横田中男子が出場し、3チーム全てが決勝トーナメントに進出しました。仁多中男子は惜しくも準決勝で敗れましたが、見事第3位に入賞しました。また、仁多中女子と横田中男子も健闘し、ベスト8に入りました。優勝は、男子が広島県大塚中、女子が岡山県玉島東中でした。

第54回 全国高等学校選抜ホッケー大会 JOCジュニアオリンピックカップ 第36回 全国都道府県対抗 中学バレーボール大会 激励式

第54回全国高等学校選抜ホッケー大会、および第36回全国都道府県対抗中学バレーボール大会の出場選手に対する激励式が12月7日、役場仁多庁舎で開催されました。ホッケー大会は12月22日から27日にかけて岐阜県各務原市で開催され、奥出雲からは横田高校男子ホッケー部、および女子ホッケー部が参加します。男子ホッケー部は、インターハイと国体で優勝しており、3冠をかけた大会です。また、全国都道府県対抗中学バレーボール大会は12月25日から28日にかけて大阪市で開催されます。奥出雲からは島根県選手団の一員として川角梨緒さんと、西村希星さんの2名が参加します。



確定申告の準備は

お早めに！

所得税(住民税)の確定申告で必要な方へ

障害者控除認定書・おむつ代医療費控除証明書を発行します

① 障害者控除認定書

身体障害者手帳の交付を受けていなくても、要介護1～5の認定を受けておられる方は「寝たきり度」、「認知症自立度」の程度により控除を受けることができますので、窓口までお問い合わせください。

要介護認定を受けていなくても、医師により障がいをお持ちの方と同等と認められる方は、医師の証明が必要となりますので医療機関へご相談ください。

◆申請に必要なもの ●該当の方の介護保険被保険者証(写しでも可)

② おむつ代医療費控除証明書

概ね6ヵ月以上寝たきりで、おむつが必要と認められる方は、医療費控除におむつ代を含める事ができます。

前年に続いて控除を受ける方のうち、介護保険の認定を受けている方は、役場窓口にて証明書を発行できる場合がありますので、窓口までお問い合わせください。(※初めてこの控除を受ける方や、介護保険の認定を受けていない方は医師の証明が必要となりますので医療機関へご相談ください。)

◆申請に必要なもの ●該当の方の介護保険被保険者証(写しでも可)

③ 申請場所・期間

・仁多庁舎 健康福祉課 又は 横田庁舎 税務課
・令和5年1月16日(月)～令和5年3月15日(水)

※税の申告期限が近づくと窓口が混み合い、認定書等を即時交付できない場合があります。申請はお早めをお願いします。

【お問い合わせ】 健康福祉課 保険グループ 有線:31-5122 電話:54-2511

国民健康保険・後期高齢者医療保険に係る医療費通知について 確定申告の医療費控除の手続きに、医療費通知を使用することができます。

●送付対象者 被保険者全員

●発送内容

国民健康保険

令和4年1月～令和4年12月診療分(令和5年2月中旬 発送)

※上記通知(年間分)は[封書]で送付します。[封書]とは別に年4回[ハガキ]も送付しています(6、9、12、2月)。
[封書]1通でも[ハガキ]4通でも内容は同じであり、確定申告にはどちらでもお使いいただけます。

後期高齢者医療保険

令和3年11月～令和4年10月診療分(令和5年1月中旬 発送)

※令和4年11月～12月診療分の医療費や、医療費通知に記載されていない医療費がある場合は、ご自身で領収書に基づいて別途「医療費控除の明細書」を作成して申告書に添付する必要がありますのでご注意ください。

※療養費(柔道整復、あん摩マッサージ、はりきゅう)については、医療費通知とは別に療養費通知を発送しています。

【お問い合わせ】 健康福祉課 保険グループ 有線:31-5123・5124 電話:54-2511

所得税確定申告及び町県民税申告相談のお知らせ

令和4年中の所得にかかる申告期間は

『令和5年2月16日(木)から令和5年3月15日(水)まで』(土日を除く)
【申告相談会場】「仁多庁舎タウンホール」・「横田コミュニティセンター大ホール」

今年度の申告相談は、会場を移動し、仁多会場、横田会場の順に開催します。
日程など詳細につきましては、12月広報に併せて全戸配布する「所得税確定申告及び町県民税申告相談のお知らせ」をご覧ください。

農業所得の事前相談を行います

相談期間は『令和5年1月17日(火)～2月3日(金)まで』(土日を除く)

※期限内に申告ができるように収入・経費の仕分けなど早目の準備をお願いします。
※事前相談を受けられた場合、収支内訳書の内容を確定申告の相談日までにあらかじめ入力しておきます。申告相談当日、入力待ちの時間が省け、相談時間が短くて済みます。

【会場】 前半：横田庁舎3階大会議室 後半：仁多庁舎1階タウンホール
【受付時間】 午前9時～午後4時30分

月	火	水	木	金	土	日
	1/17 横田庁舎	18 横田庁舎	19 横田庁舎	20 横田庁舎	21 休	22 休
23 横田庁舎	24 横田庁舎	25 横田庁舎	26 仁多庁舎	27 仁多庁舎	28 休	29 休
30 仁多庁舎	31 仁多庁舎	2/1 仁多庁舎	2 仁多庁舎	3 仁多庁舎	4 休	5 休

来場の際には、検温、マスク着用、手指消毒などの感染防止対策にご協力をお願いします。

【お問い合わせ】 税務課 有線:20-4251 電話:52-2671

大東税務署からのお知らせ

スマホから確定申告

自宅から!

自動計算!

自動入力!

「自宅e-Tax」の5つのメリット!

税務署への持参 **不要**

添付書類 **不要***
※一部の書類は除きます

還付金 **早期還付**

確定申告期間の利用可能時間 **24時間***
※メンテナンス期間を除きます

印刷・郵送料 **不要**

確定申告書等作成コーナーはこちら→



作成コーナー

マイナポータル連携で更に便利に!

大東税務署

国税庁HP

検索

3年間よろしくお祈いします 民生児童委員さんが決定しました

民生児童委員の皆さんには、日頃から地域社会の身近な相談相手としてご尽力頂いています。
令和4年12月1日から令和7年11月30日の3年間お世話になる民生児童委員の皆さんが決定しました。
委員の皆さんは次のとおりです。(以下、敬称略)

民生児童委員協議会 会長 西村 昇 副会長 植田 薫

- 布勢** 佐伯町 佐白 上布施 宇田川 昇 八代本町 八代西部 八代町 内田 満子 (☆) 八代東部 中村 内田 圭一 馬馳上 馬馳下 森合 弘子 上三所西部・中央・東部 土屋 妹尾 比富美 (☆) **三成** 尾白 上高尾 下高尾 大森 文字 (☆) 美女原 上三成上 植田 孝志 (☆) 上三成中 上三成下 川西 一夫 上本町(中町上、愛宕町、上町、横町、本町上) 川西 幸子 三成本町(本町下、大正町、暮地、寺町、中町下) 恩田 栄子 (☆) 湯の原 矢谷団地 長谷川 義夫 朝日町 宮の町 福間 浩子 矢谷 下三所 内田 吉彦 石原・里田 角木・乙多田 和久利 健 滝の上 立石 純子 (◇) 滝の上 前布施 植田 薫
- 亀高** 上分 西湯野 米原 利則 久比須 中湯野 稲垣 和利 (☆) 谷奥 亀高町 佐藤 泰則 (☆) 梅木原 大内原 村上 光枝 郡 藤 岡田 要子 (☆) 高田 琴枕 赤名 京子 (☆) **阿井** 真地 米原 上町 西村 昇 福原 上阿井町 松原 博子 平 大上 荒木 久美子 (☆) 雲崎 川東 下口 石田 茂樹 鑄物屋 川子原 八幡 森合 やよい 堀山根 大坪 公子 奥湯谷上 奥湯谷下 小寄 響 芳秋 **三沢** 四日市 河内 大吉 山田 幸則 堅田 上鞍掛 落合 光一 (☆) 上鴨倉 下鴨倉 下鞍掛 松原 和子 原田 三沢町 田中 善朗 (☆)
- 鳥上** 追谷 中粉 武藤 明朗 (☆) 日向側 山根側 安部 哲成 (☆) 福頼 北村 和子 (☆) 中丁 山郡 小田 正弘 代山 山原 嵐谷 弘子 (☆) **横田** 加食 大曲 藤原 定行 (☆) 六日市 岩佐 重信 大市(上・中・下・東・東二) 松浦 眞理子 大市(殿町上・殿町第一・重国・大市西団地) 小川 直美 (◇) 大市(東三・新町・中河原 川島 光子 (☆) 角 村上 克己 (☆) 馬場 樋口 若槻 満 五反田 やりめ 川西 まりこ (☆) 蔵屋 須山 徳一 稲田(下場・白向・陰地・矢入) 安部 禎子 稲田(六坂・稲田・中山・丸山) 尾方 豊 (☆) 原口 吾郷 富士男 (☆)
- 八川** 三井野 坂根 和久利 民男 (☆) 奥八川 佐伯 勝文 小八川 中八川 大塚 智恵美 (☆) 八川本郷 佐々木 定則 古市(上) 土橋 木下 恵美子 (☆) 古市(下) 恩田 正幸 (☆) 川西 徳江 良弘 大谷本郷 板垣 恵美子 雨川 大島 美春 **馬木** 旭 女良木 唐桶 抄子 (☆) 大馬木本郷 足立 幸雅 堅田・野伏 反保 石金 喜美子 本谷(木屋谷 折渡) 松原 幸己 矢入・中原 小森 若月 薫 (◇) 小馬木本郷 藤田 利徳

☆：新任委員
◇：主任児童委員


今回任期満了に伴い退任された 民生児童委員の皆さん(敬称略)

(地区名・在任年数)

- 延谷和彦(布勢・6年) 藤原敬久(布勢・6年) 藤原勝美(三成・3年) 山本勝昭(三成・15年) 安部洋一(三成・9年) 板持 登(亀高・9年) 伊藤清恵(亀高・9年) 賀元道治(亀高・9年) 田部 功(亀高・7年) 渡部洋子(阿井・12年) 長瀬泰枝(三沢・12年) 白名里巳(三沢・21年) 加納とみえ(鳥上・9年) 足立瑠美子(鳥上・8年2か月) 浅野澄子(鳥上・6年) 兒玉哲夫(鳥上・9年) 足立 稔(横田・9年) 森田礼子(横田・3年) 恩田友生(横田・3年) 佐藤文夫(横田・6年) 福田美之(横田・3年) 松崎光晴(横田・6年) 稲田住子(八川・5年5か月) 堀尾信勝(八川・3年) 松崎幸枝(八川・9年) 小池文子(八川・9年) 青木好満(馬木・3年)

ありがとうございました

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」
進路選択に向けて～地域との協働～



横田高校は、生徒の主体性を伸ばすため、授業以外の「学びの機会」を創ることも大切に行っています。そのような「学びの機会」は、地域の皆様のご協力を得て成り立っています。

11月には、2年生対象の「地元企業ガイダンス」、1年生対象の「社会人講話(キミチャレ)」を開催しました。「地元企業ガイダンス」では、さまざまな業種の地元企業18社にご参加いただき、生徒に向けてその魅力を伝えていただきました。「社会人講話」では、奥出雲町をはじめ県内各地で活躍されている職業人を講師としてお招きし、ご自身の高校生活や進路選択の経験を振り返ってお話していただきました。


「現場で働いておられる方のお話を直接聞いたことで、仕事のイメージがより鮮明になった」「進路選択の際の選択肢として考えたい」「自分の好きなことや譲れないことを明確にしながら、自分の軸をもって何事にも挑戦していきたい」など、多くの生徒が前向きな展望を持つことができました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

秋の献血運動に協力

令和4年10月14日(金)15時30分～16時30分に島根リハビリテーション学院を採血会場として、奥出雲町健康福祉課依頼の島根県赤十字血液センターの移動採血車による献血を実施いたしました。

当日は、新型コロナウイルス感染症防止措置を取りながら、学園祭「桜雪祭」が開催され、学生や学校関係者、地域の方など多くの方にご協力を頂くことができました。



学校法人 仁多学園
島根リハビリテーション学院

環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!

未来の太陽電池
「ペロブスカイト太陽電池」

屋根などに設置されている太陽電池は現在シリコン系ソーラーパネルが95%占めています。コストが高く、硬く、重たいパネルです。


現在開発中のペロブスカイト太陽電池は、軽く、薄く、柔らかく、放射能に耐久性があり、数年後に実用化が見込まれています。

従来の太陽電池は光吸収層に日本では手に入りくいレアメタルを必要としますが、ペロブスカイト太陽電池はそれを必要としません。

また、製造コストは従来の太陽電池の約半額。柔らかく、折り曲げられるので、たとえば建物の壁や車体の曲面に設置でき、将来は人工衛星にも使用可能になると期待されています。

デメリットは、変換効率が今のところ15%～20%と、シリコン系の20%～25%に比べ低いことです。

日本の経済産業省はペロブスカイト型を次世代太陽電池の本命と位置付けており、これからの太陽光発電の拡大に貢献できると期待されています。



みんなの掲示板

広島県立三次高等技術専門学校

【訓練生募集】
令和5年4月入校生を募集します。
◆募集訓練科等
○自動車整備科(期間▽2年・高卒18歳以上30歳以下)
○溶接加工科(期間▽1年・45歳以下)
○建築科(期間▽1年45歳以下)
○介護サービス科(期間▽6か月・年齢制限なし)
◆応募受付期間
令和5年1月4日(水)～2月10日(金)必着
◆選考日等
選考日 令和5年2月27日(月)
選考内容 数学・国語面接
合格発表 令和5年3月6日(月)
◆特典
雇用保険受給者で、公共職業安定所(ハローワーク)の指示によって入校した人には、訓練の終了日まで受給期間が延長されるほか、諸手当が支給されます。
◆見学会
毎週水曜日13時半から
※水曜日以外の希望の方は応相談
「仕事体験入学者募集」
令和5年度入校をお考えの方を対象とした、仕事体験入学者を募集します。
※見学のみも可
◆募集訓練科
○自動車整備科
汎用エンジン組立体験…6人
○溶接加工科
バーベキューコンロ製作…4人
○建築科
フォールディングチェア製作…4人
◆実施日
令和5年1月21日(土)9時～11時半
◆募集期間
令和4年12月1日(木)～令和5年1月

18日(水)先着順
◆応募方法
電話、ファックス、ホームページ
お問い合わせ
三次高等技術専門学校
三次市十日市南6-1-4-1
0824-6213439

林業退職金共済制度(林退共)へ加入しませんか

林退共は昭和57年に発足した林業界で働く方のために国が作った退職金制度です。
この制度は、事業主の方々が、従事者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うという、いわば林業界全体の退職金制度です。
○掛金は、税法上について、法人では損金、個人企業では必要経費となります。
○雇用事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。
◆事業主の皆さまへ
・共済証紙は労働日数に応じて適性に貼付してください。
・共済手帳を所持している従事者が林業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。
詳しいことは、左記の連絡先へお問い合わせください。
お問い合わせ
独立行政法人勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
〒170-8055
東京都豊島区東池袋1-24-2
ニッセイ池袋ビル
03-6731-2889
FAX 03-6731-2890

年末年始のごみ収集と持込の休業日について

日頃から、奥出雲町の廃棄物行政についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
年末年始のごみ収集と持込の休業日については、左表のとおりです。
ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

	12月			1月			
	29(木)	30(金)	31(土)	1(日)	2(月)	3(火)	4(水)
【収集】	通常	年末年始休業				通常	通常
【持込】	通常	年末年始休業				通常	通常

【お問い合わせ】
町民課町民グループ
有線電話 5315108
5412510



★★成人健診★★ (問)健康福祉課54-2781

胸部CT検査	17日(火)	奥出雲病院
	24日(火)	
乳がん検診	13日(金)	

★★乳児健診★★ (問)健康福祉課54-2781

4・5か月児健診	26日(木)	令和4年8月・9月生	13:30~13:45	奥出雲健康センター
3歳児健診	12日(木)	令和元年5月・6月生	13:00~13:15	

★★健康に関する相談★★

こころの健康相談日	16日(月)	14:00~15:00 (予約制)	役場仁多庁舎	(問)健康福祉課
歯と口の健康相談室	19日(木)	10:00~12:00 (予約制)	役場横田庁舎	54-2781
もの忘れ相談会	17日(火)	9:00~16:00	役場仁多庁舎	(問)地域包括支援センター 54-2512
こころの健康&もの忘れ相談	17日(火)	13:00~15:00 (予約制)	雲南保健所	(問)雲南保健所 42-9642
アルコールによる困りごと相談	16日(月)	13:00~15:00 (予約制)		
子どもの心の健康相談 ~臨床心理士による~	13日(金)	10:00~16:00 (予約制)		

★★結婚・子育てに関する相談★★

結婚・子育て コンシェルジュ相談所	15日(日)	10:00~15:00	横田コミセン	(問)町民課
	24日(火)		カルプラ仁多	54-2510
結婚相談所「はぴこ」	8日(日)	10:00~15:00 (予約制)	横田コミセン	(問)奥出雲はぴこ会
	11日(水)	16:00~19:00 (予約制)	カルプラ仁多	090-2860-2082(渡部)

★★農業所得の事前相談★★ (問)税務課52-2671

1月17日(火)~25日(水)	9:00~16:30	横田庁舎
1月26日(木)~2月3日(金)		仁多庁舎

★★その他の相談★★

出張年金相談	6日(金)	10:00~15:30 (予約制)	役場仁多庁舎	(予約先) 松江年金事務所 0852-23-9540
	20日(金)		役場横田庁舎	

★★イベント★★ (問)奥出雲多根自然博物館54-0003

素読論語「仁多志学塾」	11日(水)	奥出雲多根自然博物館
-------------	--------	------------

1月の行事予定

口座振替のお知らせ

税金・使用料など公共料金の12月分の口座振替は12月26日(月)です。
今回の振替は次の通りです。

- 固定資産税(第3期)
- 国民健康保険税(第6期)
- 後期高齢者医療保険料
- 情報通信使用料
- 水道使用料
- 下水道使用料
- 保育料
- 住宅使用料
- 住宅駐車場使用料
- 住宅共益費
- 老人ホーム入所費用等徴収金
- 介護サービス利用料
- 介護老人保健施設利用料

*納税通知書等で金額をご確認いただき、今一度通帳残高をお確かめいただきますようお願いいたします。

下水道使用料金(公共・農業・合併)について

◎使用人数の変更(転入・転出・出生・死亡)があった場合は、速やかに役場水道課へ届出を下さい。使用人数によって使用料金が変わります。

有害鳥獣の捕獲・駆除実績

奥出雲町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいています。令和4年10月の捕獲・駆除頭数実績は右表のとおりです。

地域	ニホンジカ	イノシシ	タヌキ	カラス	サギ類	その他
仁多地域	6	65	32	3	7	16
横田地域	3	18	24	0	0	3
合計	9	83	56	3	7	19

その他は、アナグマ、ヌートリア等の合計です。

有害鳥獣による農作物被害があった場合は、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】 農林振興課 農業生産グループ
有線：31-5288 電話：54-2513



・今月のピックアップ・

『家裁調査官・庵原かのん』

家裁調査官は「臨床の専門家」として生身の人間を扱い、罪を犯した者たちと向き合うのが職務。少年係調査官として働くかのんは家庭や学校、友人との問題等で荒んだ少年少女たちの“声なき声”に今日も耳を傾ける。更生の可能性を信じて——。ひたむきな女性調査官が奔走する姿を描く連作短編シリーズ誕生！

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書室

「若葉荘の暮らし」 畑野智美著
「リバー」 奥田英朗著
「60分でわかる！インボイス & 消費税超入門」 土屋裕昭著

「65歳からのお通じ快腸レシピ」 松枝啓著
「パンしろくま」 柴田ケイコ作絵

「カピバラがやってきた」 アルフレッドソデルギットさく
「プラスチック星にはなりたくない！」 ニールレイトン作絵

1月の休室日

月曜日、祝日、月末休室(31日)、
年始休室(1日~4日)、
蔵書点検のため休室
(17日~20日)

横田コミュニティセンター図書室

「謀聖 尼子経久伝 瑞雲の章」武内涼著
「ほけますからよろしくお願いします。」 信友直子著
「なぜ、その地形は生まれたのか？」 松本穂高著

「子どもの脳は食べ物で変わる」 生田哲著
「ごろんずっしりさつまいも」 いわさゆうこさく

「モモンガのはいたつやさん もりのいたずらっこ」 ふくざわゆみこ著
「難攻不落の迷路」 香川元太郎作絵

1月の休室日

日曜日、祝日、
年始休室(1日~4日)
1月2月の開室時間
(午前9時から午後5時)

広報カメラ記録



寒くなり、奥出雲の森の広葉樹も冬じたくを始めました。一つひとつ異なる形状の落ち葉が一面に敷き詰められた風景は、趣を感じさせます。

広葉樹林では、常緑樹でも落葉樹でも1haあたり、年間約3tの葉が落ちるそうです。地面の落ち葉は、やがて分解されて腐葉土となり、再び樹木自身の養分として利用されます。落ち葉は自然の物質循環を学ぶ、ちょうど良い教材とも言えるかもしれません。